

平成28年度事業計画

公益財団法人福島県身体障がい者福祉協会 (福島県障がい者社会参加推進センター)

I 基本方針

最近の障がい者福祉を取り巻く状況は、本年4月、障害者差別解消法の施行の施行に伴い、この法令制度等の定着さらには住民への周知、理解促進に向けた動き等が一段と加速している状況にある。

また、会員の減少、高齢化に伴う組織の再構築や身体障がい者福祉の向上等、私たち障がい当事者が積極的に関わって行くべき課題が山積している。

当協会ではこのような状況を踏まえて、加盟団体及びその会員並びに地域の障がい者の意見、要望を十分集約し、これらの状況変化に的確に応えられるよう加盟団体や各障がい者福祉団体との連携を強化し、共生社会の実現に向けて、必要な活動を関係機関、団体とともに積極的に進めることとする。

また、東日本大震災及び原発事故に伴う被災障がい者、加盟団体に対する支援を引き続き行い、被災障がい者がおだやかに生活ができる環境の創出にさらに努力を重ねていく。

さらに、本県障がい者の多くが高齢化、重度化している状況に対応して、それらの障がい者の地域生活を支援する上での効果的な方策のあり方、方法等について、加盟団体をはじめ関係機関、団体とともに検討し、高齢、重度障がい者であっても安心して暮らせる地域づくりに向けて、県、市町村及び関係団体とともに効果的な活動を展開する。

次に、障がい者の社会参加の推進については、共生社会の実現を推進すべく、県民の理解をさらに深めるとともに、障がい者自身が社会の構成員として、地域や家庭の中で生き生きと生活を送ることができ、社会参加を通じて自立の質的向上が図れるよう、関係事業を関係機関、団体との緊密な連携により総合的かつ効果的に実施していくこととする。

II 事業概要

1 障がい者福祉関係情報の提供及び組織強化事業

県内の障がい者に対して福祉関係情報を提供するとともに、高齢化等により弱体化している加盟団体の組織強化と活動の活性化を支援していく。

また、東日本大震災・原発事故の被災身体障がい者に対して、県・市町村、関係団体の協力のもと必要な支援を継続し、生きがいのある生活を送れるような状況をつくりだすよう努める。

(1) 障がい者等に対する情報提供及び加盟団体会員の加入促進事業

- ① 加盟団体、市町村、市町村社協を通じた情報紙の配布並びに加盟団体会員の加入促進用リーフレット等の配布

- ② 身体障がい者手帳所持者等の情報提供に関する市町村への協力依頼
 - ③ 協会ホームページを活用した加盟団体会員の加入促進
 - ④ 身体障がい者福祉向上等に関する講演会の開催
- (2) 被災加盟団体、被災障がい者支援事業
- ① 協会ホームページを活用した被災加盟団体の会員等の所在確認及び情報の提供
 - ② 被災加盟団体の財政基盤、組織の維持等に関する相談、助言及び支援
 - ③ 被災障がい者を対象とする各種相談の実施

2 障がい者自立促進及び障がい者理解促進事業

障がい者の自立促進、県民の理解の深化、協会加盟団体間相互交流の活発化等を図るために次の事業を実施する。

(1) 第64回福島県身体障がい者福祉大会の開催

加盟団体の会員が一同に会し、障がい者の自立と経済社会活動への参加及び当協会の果たしている役割をアピールするとともに、障がいを持つ人と持たない人の共生社会実現の推進を目的とする大会を開催する。

- ① 期日 平成28年9月27日（火）
- ② 場所 喜多方市「喜多方プラザ」

(2) 機関紙の発行、配布及びその他の理解促進

- ① 機関紙等の作成、発行（年4回以上）
- ② 日身連機関紙の配布（毎月）
- ③ 「障がい者週間」及び障がい者理解についての啓発、広報
- ④ 協会ホームページを活用した障がい者に対する理解促進

3 障がい者スポーツの振興事業

障がい者の心身の健康増進、身体機能の維持強化、社会参加の意欲向上及び県民の障がい者並びに障がい者スポーツに対する理解を深めるため次の事業を実施する。

(1) 第7回福島県身体障がい者グラウンド・ゴルフ大会の開催

- ① 期日 平成28年10月27日（木）
- ② 場所 福島市「十六沼公園」サッカー場1・2

(2) 第54回福島県障がい者総合体育大会の共催

- ① 期日 平成28年5月15日（日）前期/平成28年5月22日（日）前期
- ② 場所 福島市「とうほう・みんなのスタジアム」他

(3) 第16回全国障がい者スポーツ大会への参加

- ① 期日 平成28年10月22日（土）～24日（月）
- ② 場所 岩手県

4 身体障がい者社会生活訓練事業

身体障がい者の日常生活及び社会参加の促進を図るため、歩行訓練、健康・教養講座、参加者交流等を内容とする方部別又は構成団体ごとの研修会、講習会等の開催を支援する。

- (1) 対象 平成28年4月から12月頃までに実施する事業を対象とする。
- (2) 内容 平成28年年度身体障がい者社会生活訓練事業実施要綱による

5 「おもいやり駐車場利用制度」活用推進事業

大型商業施設、公共施設等に設置されている障がい者向駐車場の適正・優先使用制度の利用を推進する。

- (1) 大型商業施設経営企業、市町村等公共施設管理者に対して、「おもいやり駐車場利用制度」に関する普及啓発、協力依頼等の活動を実施する。
- (2) 県発行の「おもいやり駐車場利用証」の取得拡大に向けて、対象者向けに制度内容の説明や申請手続きの指導助言等の支援を実施する他、県とともに普及キャンペーンを実施する。

6 身体障がい者に対する相談援助事業

本県の身体障がい者相談員は平成24度から相談員委託に関する権限の委譲に伴い、未設置の状態となっている。

当協会では、このことが地域福祉のきめ細かな実施上、問題であり、依然身体障がい者相談員による相談援助の必要性は高いとの認識のもとに、従来の制度に匹敵する制度が創設されるよう県当局に働きかけていく。合わせて、相談員の相談支援に必要な情報、手法の蓄積にも務める。

- (1) 各都道府県における身体障がい者相談援助事業に関する調査、研究
- (2) 第23回東北・北海道ブロック身体障害者相談員研修会
 - ① 期日 未定
 - ② 場所 宮城県（仙台市）

7 日本身体障害者団体連合会（日身連）との連携

全国の障害者団体の組織活動の推進、障害者の保健・福祉の増進等を目的として活動している日身連との連携・協働により県内障がい者福祉の充実強化を図る。

- (1) 日身連評議員会
 - ア 評議員会・政策協議
 - (ア) 期日 平成28年5月11日（水）
 - (イ) 場所 京都市新・都ホテル
 - (ウ) 出席者 評議員（会長）

イ 第2回定例評議員会

(ア) 期 日 平成28年3月

(イ) 場 所 東京都

(ウ) 出席者 評議員（会長）

(2) 第59回日本身体障害者福祉大会

① 期 日 平成28年5月12日（木）

② 場 所 京都パルスプラザ

③ 参加者 本部役員（会長）他

8 東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会との連携

障がい者の福祉向上、社会参加の推進及び共生社会の実現を目指して、東北・北海道ブロックの各道県・政令市との連携・協働により県内障がい者福祉の充実強化を図る。

東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会団体長等会議

(ア) 期 日 未定

(イ) 場 所 札幌市

9 加盟団体事業への参加

加盟団体との連携強化を図るため、以下の事業に参加し、障がい者の意見、要望の聴取、情報交換を通じて地域福祉の向上に資する。

総会、スポーツ大会、研修会等

10 障がい者社会参加促進事業（福島県委託事業）

障がいのある、なしにかかわらず、だれもが地域や家庭で明るく暮らせる社会づくりに向けて、社会参加促進施策を総合的に実施し、障がい者が自立した生活を送られるとともに社会参加を通じて生活の質的向上が図られるよう、以下の事業を実施する。

（事業計画の詳細は、別紙「福島県障がい者社会参加推進センター事業計画」のとおり）

- (1) 福島県障がい者社会参加推進センターの設置及び運営
- (2) 相談、啓発・普及、生活環境改善等の社会参加促進事業の推進
- (3) 社会参加促進に必要な情報の収集及び提供
- (4) 社会参加促進に関する調査研究
- (5) 関係団体及び社会参加促進事業担当者に対する指導・援助
- (6) 障がい者社会参加推進関係団体に対する協力
- (7) その他障がい者の社会参加推進に必要な事業

1.1 法人運営に関する会議の開催

公益財団法人の円滑な運営と事業実施を図るため、以下の会議を開催する。

(1) 定期監査	5月	福島市
(2) 定時（第1回）評議員会	6月下旬	郡山市
(3) 第2回評議員会	27年3月下旬	郡山市
(4) 第1回理事会	6月中旬	福島市
(5) 第2回理事会	28年3月下旬	福島市
(4) 臨時理事会	必要の都度	福島市
(5) 会長・副会長会議	必要の都度	福島市
(6) 支部長・事務局長等会議	7月上・中旬	福島市
(7) その他組織、運営に関する会議	必要の都度	福島市